



地元農産物がつなく 伊万里の農業の魅力

私たちが、毎日の食卓で食べている野菜や果物。その中に、伊万里で育てられたものが、たくさんあることをご存じですか。

地元でとれた野菜や果物を、地元で消費する『地産地消』は、鮮度や味を楽しめるだけでなく、生産者を身近に感じながら、地域の農業を支えることにつながります。

ここでは、市民リポーターが取材したり感じたりした、地元農産物の魅力や生産現場の声、地産地消の取り組みなどを紹介します。

伊万里市 農産物の旬カレンダー

品目 / 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
キュウリ 	●											
アスパラガス 	●											
小ネギ 	●											
みず菜 	●											
タマネギ 	●											
かぼちゃ 	●											
いちご 	●											
梨 	●											
	●											
	●											
	●											
	●											
	●											
	●											
巨峰 	●											
シャインマスカット 	●											
みかん 	●											
うめ 	●											
もも 	●											
すもも 	●											
きんかん 	●											
キウイフルーツ 	●											



市内では、季節ごとにさまざまな農産物がつくられています。これは、出荷時期の目安を表しています。

伊万里の大地が育てる『旬の農産物』

届ける



農家の想いが集まる 道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』

伊万里で育てられた野菜や果物を、身近に、そして新鮮なまま手に取ることができる場所が、道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』です。

市内には、伊万里ふるさと村をはじめ、地域ごとに特色のある直売所があり、生産者が、心を込めて育てた旬の農産物や加工品などが販売されています。生産者自らが出荷するため、収穫したばかりの新鮮な食材に出会えることが、大きな魅力です。

ここでは、3月28日にリニューアルオープンから1周年を迎える『伊万里ふるさと村』を通して、農産物を『届ける』現場の声を紹介します。



道の駅伊万里
『伊万里ふるさと村』 駅長
立石 善之 さん
Yoshiyuki Tateishi

道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』は、九州・沖縄の道の駅 152 駅の中から『JAF 会員が選ぶ イチオシ道の駅グランプリ 2025』で、佐賀県総合 1 位を受賞しました。

当駅の自慢は、地元農家が、愛情を込めて育てた野菜や果物です。生産者の名前が分かり、想いが伝わる品ばかりで、旬の時期に合わせ、いち早く店頭に並びます。

地産地消は、地域の皆さんが、地元の旬をおいしく味わうこと。その積み重ねが、伊万里の豊かな農村風景を守ることに、つながっていくと考えています。



道の駅伊万里
『伊万里ふるさと村』
『ふるさとの会』 会長
畠山 豊 さん
Yutaka Hatakeyama

毎日の食卓を彩る野菜や伊万里の果物、伊万里牛など。ふるさと村に並んでいるものは、私たちが、伊万里の風土と向き合い、天候や土の状態を見極めながら、手間暇を惜みず育てた農産物です。一つ一つに、生産者それぞれの工夫や思いが詰まっています。

当駅には、地元の農畜産物を使った加工品も数多く並び、伊万里ならではの味を楽しむことができます。

地産地消は、地域の農業を支え、地域を元気にする力になります。ぜひ、一番おいしい時期の地場産物を味わい、伊万里の恵みを感じてください。

市民リポーター

吉本 友歩 さん
Yuhō Yoshimoto

伊万里移住 3 か月
旅行が趣味 (43 都道府県を制覇)



はじめまして! 3月号市民リポーターの吉本です。
新規事業所の立ち上げをきっかけに、東京から伊万里へ移住しました。農業は勉強中ですが、伊万里で味わう『採れたて』のおいしさに、日々感動しています。
新米移住者の視点から、皆さんへ地産地消の魅力を丁寧に伝えていきます!

リニューアル **1** 周年イベント

伊万里ふるさと村 **おかげさまで 1周年!**

3月20日(金・祝) ~ 22日(日)

さまざまな催しを準備しています。
皆さん、ぜひ来場してください!

食べる



伊万里で味わう『地産地消の魅力』

豊かな自然と温暖な気候に恵まれた伊万里で、生産者が、それぞれの工夫や想いを込めて育てたものを、地元で味わうこと。その身近な選択が、地域の農業や生産者の取り組みを支え、市の未来へとつながっていきます。

また、地元で消費することは、環境への負担を抑えることにつながります。

市民リポーターが体験！地元の味



道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』の特産館を訪れました。店内には、地元で採れた新鮮な野菜や果物、地元食材の加工品がずらり。

実際に味わうと、さつまいものやさしい味わいや、いちごの濃い甘さに驚き『採れたてを、その土地で食べる贅沢』を実感しました。

生産者の想いを感じながら、商品を選ぶ時間も、特別な体験でした。



学校給食で広がる！地産地消

市は、地元でとれた野菜を、学校給食で積極的に使用する『ふるさと食材いまりの日』を設け、食育の推進と地産地消に取り組んでいます。

子どもたちが、地域の農産物に親しみながら、食の大切さを学ぶことは、地産地消を次の世代へつなげる、大切な取り組みのひとつです。



伊万里の農産物を食べて応援しよう！



- 直売所で地元産の野菜・果物を選ぶ
- 市内の飲食店で伊万里の食材を味わう

伊万里市観光協会
ホームページ↓



市内のグルメ情報は [こちら](#)



未来へ

次の世代へと広げていく『地産地消の輪』

地産地消は、地域の農業を支えるだけでなく、私たちの健康や食の安全・安心、環境への負担軽減などにつながる、大切な取り組みです。

市の若い農業者たちは、農業や地産地消の魅力をも未来へつなぐ活動に取り組んでいます。

ここでは、農業者の団体である『4Hクラブ』の活動を紹介します。



若い農業者がつなぐ！伊万里の未来

🌱 4Hクラブとは

伊万里・有田地区の若手農業者で構成される団体のことです。仲間同士で学び合いながら、農業経営の向上に取り組むとともに、地産地消や農業の魅力を地域に伝える活動を行っています。表紙の写真は、4Hクラブのメンバーです。

さまざまな活動に取り組んでいます

『ネギの植え付け体験』



『秋の味覚マルシェ』



🗣️ 市民リポーターがメンバーにインタビュー！

Q. 農業を行っていて、大変だと感じることはありますか

A. 収穫の時期だけでなく、1年を通して管理や作業が続くことです。

Q. 農業のやりがいはどういうところですか

A. 天候の影響などを受けながらも、自分で試行錯誤した結果が作物に表れ、収穫がうまくいったときや「おいしかった」という声を聞いたときに、大きなやりがいを感じます。

Q. 地産地消への思いを教えてください

A. 作物だけでなく『誰が、どんな思いで育てているのか』を知ってもらえることが大切だと思います。地元の農産物を選んでもらうことが、農業を応援する力になります。



4Hクラブの梨農家・山口さん（中央）、丸尾さん（右）とのインタビューでは、吉本さんの大好物が梨ということもあって、話が弾んでいました。

新たに農業を始めたい人へ

市は、新たに農業を始めたい人を対象に、就農に関する相談や支援を行っています。

興味のある人は、まずは気軽に相談してみませんか。相談窓口などの詳細は、次の二次元コードから確認してください。→



園芸団地の入植者を募集しています！

園芸団地は、新たに農業を始める人などのために整備された、農地の分譲地です。瀬戸町に位置し、現在、区画整備や水源の確保など、安心して就農できる環境づくりを進めています。



リポーター体験を終えて



東京から伊万里に移住して3か月が経ちましたが、越してきた頃とは、比べものにならないほど『農業が暮らしと深く結びついていること』を実感しています。

生産者の思いや工夫を知ること、伊万里の農産物がより身近な存在になりました。

これからは、日々の買い物などを通して、伊万里の農業を応援していきたいと思っています！